



# はまなすの実



— 第 20 号 —  
平成 24 年 1 月 31 日  
北海道文教大学同窓会  
「つるの会」

恵庭市黄金中央 5 丁目 196 番 1  
北海道文教大学内  
TEL(0123)34-2515  
発行責任者 後藤田倫子

千支の旅  
はや六巡り  
辰の年



## 北海道文教大学 同窓会 つるの会 「新旧会長 ごあいさつ」

### 「鶴岡学園 70 年の絆」

同窓の皆様にはご清祥にて新たな年をお迎えのこととお喜び申し上げます。とはいえ昨年 3 月 11 日に傷ましくも襲い掛かった未曾有の「東日本大震災」、又秋には降り続いた雨による大洪水と日本全国に大きな傷跡が残されました。

被災されて今なお苦痛の日々にある会員の方々もおいでかと思いますが衷心よりお見舞いを申し上げます。

さて、私事昨年の同窓会をもち約 20 年務めて参りました会長の役を解放して頂き、長年苦勞を共にしてきた後藤田倫子さんにバトンタッチいたしました。

思えば「大学なんて就職の為の通過点よ」と嘯いていた私。北海道栄養短期大学・北海道文教大学短期大学部・北海道文教大学と学園の歴史と共に皆様のご協力を頂きながらも深く同窓会に関わるなどとは思っても寄らない生

き様だったかと今感慨深いものがあります。終わってみれば果たして皆様に満足して頂く仕事のできたのだろうかと憂慮するところでもありますが。

ひと時は随分盛んだった同窓会も人々の生活が多様化するにつけ沈滞気味になってきておりました。しかしここ数年若い方々の努力が実を結びつつあり少しずつ活気を取り戻していることは無上の喜びであります。

鶴岡学園は今年創立 70 周年を迎えます。皆様ご存知のように北海道文教大学は「清く、正しく、雄々しく進め」という鶴岡先生ご夫妻の立てられた建学の精神に支えられ綿々とそれを伝え続け、末広がり教育の場を広げております。学園無くして同窓会は存在しませんからその絆をいよいよ強くし流れを絶やすことの無い大河のように歴史を脈々と築いて欲しいと祈念致しております。

今後は地域の為に、又長年続けてきた長唄の稽古、合唱と趣味を楽しみながらゆったり過ごしたいと思っております。

母校の益々の発展と皆様のご健康とお幸せを祈りつつ。

前会長 北崎迪子 (食 3 期)

### 「会長の任をお引き受けして」

平成 23 年度から北崎迪子会長に代わり会長の任をお引き受けすることになりました。北崎会長には安心して同窓会活動をお任せしており、まだまだ続行して戴きたかったのですが御身体の調子も考慮して決心いたしました。基より前会長のように大学の運営状況など疎い事が多く、また札幌から 300 キロ以上離れた土地に住まいしており迅速に対応できないことも出てくるかと思いますが、皆様の協力を得ながら進めていきたいと思っております。

各支部の充実・大学祭への協力や教育助成金などを通じて現役学生や、同窓会の皆様と絆を深めていければと思っておりますのでよろしく申し上げます。

新会長 後藤田 倫子 (食 3 期)



### はまなすの実 20 号 ～ 記事 一覧 ～

表紙	つるの会 新旧会長挨拶
2.3P	はまなすの実 第 20 号特集
4.5P	根釧支部会 講演会・懇親会
6.7P	大学祭給食イベント
8P	OB 訪問, よりみち
9P	収支報告, 平成 22 年度事業経過報告
10P	掲示板, 編集後記

### 「つるの会」からのお知らせ ～同窓会室のご案内～

同窓会室は北海道文教大学 1 号館 2 階にあります。月・火・金に開放されております。お気軽に、お越しください。  
月 10:00 ～ 14:00  
火 10:00 ～ 14:00  
金 10:00 ～ 14:00  
(水・木・土日祝日はお休みを頂いております)

# はまなすの実 発行第 20 号記念特集

座談会とエピソード寄稿で振り返る文教大学

会報の発行 20 号を記念し、学生時代の思い出を語っていただき大学の歴史を振り返るという企画でお越しいただきました。先生方どうぞよろしくお願いいたします。

**橋本** 昭和 17 年創立時の、北海道女子栄養学校の一期生は全員で 7 人でした。入学式のことでも覚えているのは「東京の栄養大学の入学生が 3 人なのに対し、北海道の片田舎の学校でこんなに大勢の生徒とともに栄養学校をスタートできる事を大変嬉しく思う。」という鶴岡新太郎先生の言葉なの。

今の学校からは、想像もつきませんね。

**橋本** とても和気藹々として、全員が家族のような雰囲気でした。当時は、南 3 条の街中であって、学校帰りに 7 人全員が袴姿で、千秋庵に寄り道してお茶を飲んで帰るのがとっても楽しかったです。

昭和 17 年頃は、戦時中ですが、食材などはどうされていたのでしょうか？

**橋本** 毎日、調理実習がありましたから、先生たちが市場を回って、何とか私たちのために食材集めに奔走して下さいました。リヤカーに乗せて運んできたんですよ。鶴岡先生は、西洋料理を専門とする先生でしたから、当時はなかなか手に入らなかった西洋食材を北海道でも手に入りやすい食材に代えて、工夫していました。

もしかして、マッシュポテトのクリスマスケーキ！

**橋本** そう、生クリームの代わりにじゃがいもを使ってね。

**田中** 私たちが学生の時もありましたよ。

**坂本** 残念ながら今の学生には教えていませんが、前に作った時は野菜を使ったスイーツがはやっていた時期で、かえって評判が良かったです。

橋本、鶴岡先生の数々の教えの中でも、牛刀の使い方は体に染みついています。

**全員** 押し切り、引き切り。右足は一步ひいて、こぶし一個分の隙間（笑）

**田中** 橋本先生の教えが、こうやって代々引き継がれて行って、素晴らしいことですね。

**坂本** 学生時代の牛刀、つい最近まで現役で使っていました。

**山本** 山田先生は、担任の先生が橋本先生だったと伺いました。

**山田** 橋本先生は、姿はもちろん一挙手一動が美しく、授業内容よりも所作に見入っていたの。外部の講習会で他校の学生が橋本先生を噂するのが聞こえて鼻高々！

**田中** 今でも憧れの先生です。

山田先生のところからは寮生活が必須だったとの話です。



座談会  
参加者

上中央 橋本 美佐子 (1 期)  
上右側 山田 美智子 (7 期)  
上左側 田中 律子 (12 期)  
下左側 坂本 恵 (17 期)  
進行 山本 由香子 (32 期)



**山田** オムレツが作れないと留年だと思い込んで、寮に帰っては何十個もオムレツ作り。

**坂本** 寮での食事づくりも単位の一つだったから、朝ご飯を作って学校へ行き、お昼作りにいったん戻って、また授業後に夕食を作っていました。

**田中** 通学の生徒も 3 ヶ月は寮生活が必須だったから、当番がくると大変忙しい思いをしたけれど、大量調理の良い練習になっていたのね。

昔は制服があったと聞きました。

**山田** 私が学生の時は全国的に学生運動が全盛期だったの。大きな運動に参加したわけじゃないけど、どうしても学生服を無くしてほしくて、ちょっと運動して…。

**坂本** えっ！山田先生にそんな過去があったのですね。今、制服が無いのは山田先生のおかげ（笑）

**山田** 今思えば、制服があれば、着る服に悩まないのだけど。

大学の歴史に名を残すような (?) エピソードまで出てきました。

**田中** ブイヤベースって何？と、今では一般的な料理名に驚いたり、あの頃の思い出は語りだすとキリが無いわね。

**坂本** 今の大学の授業は、医学的な要素が強くなって来ていますが、実習で技術を身に付ける事も大事なことですよね。

**山田** 現場に出たときに、ベテラン調理師さんと渡り合っていけるだけの最低限の技術が身についたことを今でもありがたく思っています。

**橋本** 時代は変わっても鶴岡先生の教えが受け継がれていて、嬉しく思いました。

本日は、創立当時のお話や、橋本先生に習っていた時代の話など、楽しい思い出話をどうもありがとうございました。

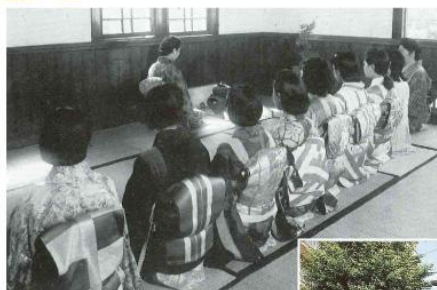
## エピソード寄稿 ①

私たちは短大4回生ですが、卒業してすでに43年が経過しました。

当時は、全員教職課程が必修だったこともあり、考えていたような余裕はなく、短い2年間という印象でした。その全てが思い出ですが、中でも中学校での教育実習期間は授業準備等に夜遅くまで追われ、緊張の連続でした。

私は1年間の寮生活を送りましたが、1部屋4人の共同生活は貴重な経験でした。消灯時間が守れなかったり、ストーブの焚き付けに苦労したり、また、定期試験が迫ると独り集中できる場所がなく困ったこと等、色々ありながらの寮生活でしたが、集団生活の楽しさも知り、今ではとても懐かしい思い出です。この度、私の思い出の一端を載せていただいたことで、暫し学生時代に思いを馳せることができました。

食物栄養4期 出島秀子



下写真：創立の面影を残す  
学園本部

写真上：昔の授業では花道  
の授業もありました。



恵庭キャンパス  
北海道栄養短期大学  
食物栄養学科・別科  
専攻科

下の写真は  
現在の北海道文教大学。  
今も新校舎の建設が  
行われています。



## エピソード寄稿 ②

随分年月が経ってしまっていて、私が栄養学校に入学いたしましたのは、六十有余年も過ぎております。校舎は札幌市南三条西七丁目にありました。クラスメートの皆さんは十名余りで、一番少ないのではないのでしょうか。一年先輩のクラスは多勢いらっちゃって、皆一緒に席を並べた事もございました。鶴岡新太郎先生からは、お料理の講義を受けました。

実技の方は、当時馬鈴薯や南瓜の配給が多くおいもや南瓜の料理、今思えば料理ともいえない様なものでした。戦後何年も経っていませんので材料はあまり有りませんでした。講義上ではフランス料理、ソース類は良く教わりました。それで卒業の折に皆で材料を思い出し食い鶏一羽を求め処理の仕方、お腹に詰めものをして、ローストチキンの作り方を、教わって舌つづみをうった思い出があります。鶴岡トシ先生からは茶道、花道の教えを受けました。皆なごやかにお作法もお習い話しました。

学生時代の思い出と申しても長い年月が経ち忘れていた事もありますが、食品衛生や化学を楽しく授業をしたと思っております。長らく栄養士として生きてきた私があるのは栄養学校で学んだお蔭と思っております。

「鶴岡学園」四年制の北海道文教大学として益々発展してゆく母校を頼もしく思っております。鶴岡先生御夫妻の偉大さ、その後につかれた諸先生の御苦勞を偲び感謝いたしております。今後共の御発展を祈りながら拙いペンをおきます。

北海道栄養学校6期 市村英子



北海道文教大学 同窓会 つるの会

## 根釧支部会 開催

### 根釧支部会が釧路で開催されました。

平成 23 年 10 月 1 日（土）釧路全日空ホテルにおいて、18 名の参加を得て根釧支部会を開催いたしました。講演は「栄養士が行う災害対応～東日本大震災での派遣支援～」と題し、北海道苫小牧保健所 渡辺 健司さん（食物栄養 28 期）にお願いいたしました。講演では、行政の栄養士として被災地に派遣され、どのように災害対応を行ってきたかを具体的に教えてくださいました。避難所生活をされている方々に、限りある食材での献立の提案や栄養欠乏症への対応など、栄養士だから出来ることも多くあったということでした。



講演後、同会場で懇親会が行われました。開会のあいさつに立った後藤田会長は、支部会に集まっていたいた方々のつながり、同窓会の発展が今後とも続けられるよう努力しましょうと述べられ、盛会裏に終わりました。

講演後、同会場で懇親会が行われました。開会のあいさつに立った後藤田会長は、支部会に集まっていたいた方々のつながり、同窓会の発展が今後とも続けられるよう努力しましょうと述べられ、盛会裏に終わりました。



### 根釧支部同窓会に出席して

大学を卒業してから1年、仕事の関係で今年の4月に札幌から釧路へ来ていたので、今回の根釧支部会に出席することが出来ました。

私は支部会というのがどのような場で、どんな事をするのか全く分からず期待と不安が入り混じっていました。会場には健康栄養1,2期生の先輩も参加しており、いろいろと話を聞く中で緊張も和らぎ、楽しく会に参加することが出来ました。

渡辺さんの講演「栄養士が行う災害対応」では3月11日に起きた東北地方太平洋沖地震での災害対応について写真を交えながら、実際の活動内容など、とても貴重なお話を聞かせていただくことが出来ました。栄養士としてという活動の場面もあれば、

被災地に行くべき者としての準備など、普段の生活では知り得なかった現実を知る事が出来ました。この時の地震では釧路でも川の氾濫による浸水や津波の影響で橋の通行止めなどがあったと聞いており、他人事ではないという不安感もあったので、出席して良かったです。講演後はアロハフラも間近で見られ、懇親会では先輩方の学生時代のお話もたくさん聞くことができ、自分の学生時代とのギャップを感じながらも楽しい時間を過ごすことが出来ました。またこのような機会がありましたら是非参加したいと思います。

健康栄養学科 4期 稲葉 舞





支部会では、フラダンス教室の先生を含めた6名のフラダンサーによる素敵な演出があり、参加者も楽しげにダンスを鑑賞していました。

北海道文教大学同窓会「つるの会」根釧支部懇親会に出席して・・・久びさに短大時代の友に逢えると思いき喜んで出席しました。

まず会場で受付をしたのが同期で現在「つるの会」の会長の後藤田倫子(中島)さんでした。「みっちゃん」と言われて振り向くと同室だった小野好江(中村)さんそして同期の釣井悦子(小川)さん栗野謡子(若松)さん・・・。

すぐに話題は藤の沢の寮の生活の事になり調理当番で朝早く起きて朝食とお昼のお弁当作りをした事、また薪拾いや燃えないコークス・ストーブの事、部屋で夜遅くまで騒いで下の部屋の人達に注意されたこと、話はつきずに次から次と走馬灯のように甦りその一つ

一つが今となっては懐かしさに溢れていてまた学校は小鳥の村やリンゴ園などにかこまれていてとても環境の良い処で生活していたのです。またあの学校までの急な坂道は大変でしたがすべて懐かしく私の青春の思い出です。

私達が通学していた短大時代と異なり現在は四年制で男女共学、名前も文教大学になり今回の同窓会にも若い方々が参加して下さり二次会はスナックでカラオケとなり大変盛り上がり自分の年齢も忘れて学生にタイムスリップして楽しく過ごしました。後輩の方々がそれぞれの分野で活躍されているのをお聞きし文教大学の繁栄を誇りに思いました。

食物栄養3期 永野満子



# だいがかく祭



平成 23 年 10 月 8・9 日に 7 名の同窓生と 2 名の文教大学生が大学祭において給食作りを行いました。昨年までは 1 日のみの開催でしたが、同窓会生、学生が集まることで、2 日間の開催が実現しました。

恵庭の食材をふんだんに使用したランチセットはとても好評で、学生や地域の方々を含む 100 人以上の人が舌鼓をうちました。

今回、給食作りに参加してくれた同窓生の小井口さんから当日の感想を頂きました。

## 大学祭に参加して

今回の大学祭での給食調理への参加は、2 回目になります。

私は、普段は知的障がい者更生施設で管理栄養士をしています。施設側の管理栄養士になるので、基本的には、

厨房で調理を行うことはありません。なので、大量調理をする機会もほとんどありません。そんな環境の中で、私がこの大学祭の給食調理に参加する理由とは、幅の広い年齢層の方に提供して、その方たちの食べている顔が目の前で見れることと短くても、相手と会話があること、他の施設・病院の管理栄養士たちの日頃の働き振りが作業の中で垣間見えて、少しでも自分の業務にプラスになるような情報を得ることです。とにかく、参加するだけで自分にとってはすごく刺激的です。例えば、野菜一つの切り方でも、どうすれば同じサイズに切れるのか、どうすれば早く切れるのか…厨房経験がない私には、ひとつひとつを教わるすべてのことがプラスになることばかりでした。

私たちが、大学祭で給食を作る中で、卒業生が給食を作っている、または、管理栄養士が給食を作っている、というのは、在学生・保護者・地域の方々にはどのように映っているのでしょうか。在学生や保護者の方々には、将来の姿をイメージしたりして、目標や憧れを抱いてくれるものであればと思います。また、地域の方々には、管理栄養士をもっと身近な職種に感じてもらえると思いまして。

テーマは「秋の洋食」

10/8(土)



「お品書」

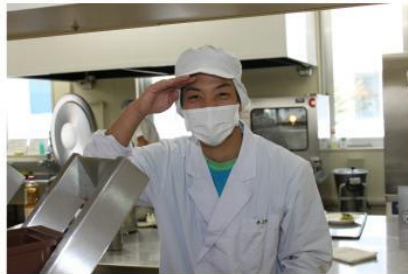
カルボナーラ コンソメスープ  
秋鮭のクリームソースかけ 水菜のサラダ  
ラズベリーのデザート



写真左：文教学生にも料理は好評でした。



写真右：給食イベントの飾りつけは松木寛美さん(幼教 17 期)を中心に幼児保育学科卒業生が作成してくれました。



写真：料理を作成したスタッフ

テーマは「秋の恵庭」

10/9(日)



「お品書」  
チキンライス 中華スープ ピクルス  
鶏の照り焼きマヨネーズかけ 南瓜のケーキ

今年の大学祭の去年との大きな違いは、給食提供の日が1日間から2日間になったことでした。

去年は、気づくことができませんでしたが、2日間給食を食べに来てくれた方や家族がいました。2日間食べに来てくれた方に「昨日も来てくれてましたよね？」と声を掛けると、「はい。そうです。

楽しみにしているので…」と言ってくれる方もいました。

もちろん、毎年来てくれているリピーターの方もたくさんいます。私も2回だけの参加ですが、去年も食べに来てくれていた方々ももちろんいました。短い会話でも、とても嬉しいことでした。

調理や配食をしていく中で、食事というものは、口に入って初めて栄養になる。おいしい食事を提供しなければ、残菜は増え、対象者の栄養にもならない。と感じました。それは、その場、その場で対象者の嗜好や年齢層に合わせて瞬時に判断し、味に変化を持たせる先輩の管理栄養士たちの姿を見たからでした。その姿には私自身憧れを持ちました。

また、対象者のニーズに答えていくことの必要性を深く感じました。私が働いている所の障がいを持った方々は、頭では思い描くことができても言葉にして気持ちが伝えられなかったりするので、好きな食べ物の名前がわからなかったり、食べたいものが言えなかったりすることが多くあります。その中で、いかにニーズに答えていくかは、本人たちとの関わりをいかに多く持ち何を望んでいるかを汲み取ることや食経験を多くしてあげることかと思えます。さまざまな食事を提供することにより、本人たちの食に対する視野が少しでも広がればと、今回の大学祭の給食調理で再度実感することができました。

健康栄養 3期 小井口 理絵



写真：食べざかりの男性陣にも満足していただきました。



写真：後藤田会長を含め、同窓会メンバーにも、料理を食べていただきました。

## よりみち Vol.6

### ～ 倶知安町アンテナショップ・くっちゃんマルシェ ゆきだるま ～

今回の「よりみち」は「くっちゃんマルシェ ゆきだるま」に行ってみました。

「くっちゃんマルシェ ゆきだるま」は“ふるさと雇用再生産特別交付金”によって、“NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会（北海道栄養短期大学 食物栄養学科 2期 つるの会後志支部長 小野幸子さんが事務局長を務めております）”が中心となり、平成 21 年 4 月 22 日にオープンしたお店です。

地元の農産物や特産品の紹介と販売をすることで倶知安町をPRして、将来的には地元食材を利用した加工品の研究開発をして生産に結びつくお手伝いができるような施設を目指しているそうです。

お店の名前の由来は、“倶知安町内で生産された物を紹介販売する倶知安町の市場”という意味と“豪雪の町をイメージするのにふさわしい「ゆきだるま」”から名づけられたそうです。みなさんも、倶知安町に行った時または通過する時は、是非「くっちゃんマルシェ ゆきだるま」にお立ちよりください。「ニセコで遊んで！お土産に特産品を買って！アイスを食べる！」この冬のイベントに是非加えてください。



「倶知安町アンテナショップ・くっちゃんマルシェ ゆきだるま」  
〒044-0066 北海道虻田郡倶知安町字琴平 131-5  
(国道5号線“コスモプロパン北日本燃料さん”向かい)  
営業時間 9:00～17:00 TEL 0136-22-6641 FAX 0136-55-5721



※「くっちゃんマルシェ」でお買いものして、“はまなすの実 20 号”を提示していただいた方に限り、アイス（シングル）をサービスしていただけます。（平成 24 年 3 月末日まで有効）

## OB 訪問



大学を卒業し、我汝会えにわ病院で勤務して 2 年目になります。在学中に通学路の途中でえにわ病院は何度も見ていましたが、まさかこの病院に勤務するとは思っていませんでした。我汝会えにわ病院は、全国的にも有名な整形外科病院であるため患者様の数も多く、リハビリテーション科では研究活動も積極的に行っております。臨床業務と研究活動の両立は大変なことですが、患者様をハッピーにするためには必要なことだと考えていますし、実際に両立できるこの病院は素晴らしいと実感しています。私自身まだまだ未熟者なため上司に迷惑をかけることや助けを借りることも多く、1日の業務が終わると疲れて自宅に帰るとすぐ寝てしまうことも

ありますが、充実した毎日を過ごしております。これからも理学療法士として精一杯努力し、今まで以上に患者様をハッピーにできるよう頑張っていきたいです。また北海道文教大学の卒業生として、お世話になった先生方に恩返しができるよう、先輩や後輩に恥ずかしくないよう頑張っていきたいと思っております。

我汝会 えにわ病院 リハビリテーション科  
理学療法 1 期 大谷貴之



## 平成 23 年度事業経過報告

1. 同窓会名簿の整理 : ホームページを充実させ名簿整理を行った
2. 卒業生への記念品 : ネームペン (411 本)
3. 同窓会総会及び入会式・卒業生を祝う会 平成 24 年 3 月 17 日 (土) 於 札幌パークホテル予定
4. 会報の発行 (会報及びホームページ委員の活動について)  
会報「はまなすの実」20 号発行 ホームページの更新 (年 3 回)
5. 支部の充実 : 根釧支部開催 (平成 23 年 10 月 1 日 (土) 釧路全日空ホテルにて)
6. 大学祭での給食提供・食堂内の飾りつけ 平成 23 年 10 月 8 日 (土)、9 日 (日) の二日間給食提供
7. 教育研究助成金事業 : 平成 23 年 10 月各学科に申請書配布
8. 東日本大震災被災地域同窓生へのお見舞いはがきと見舞金
9. 大学への寄付
10. 役員改選

## 平成 22 年度決算

収入の部			自 平成 22 年 3 月 1 日 至 平成 23 年 2 月末日 (単位円)
科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	3,392,203	3,392,203	
会費	8,470,000	8,750,000	〈短大〉 (大学) 21 年度 14 名 × 15,000 = 210,000 円 21 年度 66 名 × 20,000 円 = 1,320,000 円 22 年度 32 名 × 15,000 = 480,000 円 22 年度 337 名 × 20,000 円 = 6,740,000 円
利息収入	1,000	583	普通預金利息
計	11,863,203	12,142,786	
支出の部			(単位円)
科目	予算	決算	備考
同窓会総会	800,000	735,742	総会会場費、入会式及び卒業記念祝賀会費
卒業記念品費	1,500,000	1,218,000	平成 21 年度卒業生 既製 (254 本) 別製 (136 本)
印刷費	10,000,000	428,505	会報印刷、総会出欠用返信葉書印刷
通信費	10,000,000	950,144	電話代、切手代、会報送料金
事務消耗品費	300,000	244,411	事務用品、コピー機リース代
会議費	300,000	208,042	役員会、委員会、(会報及び HP)
交通費	700,000	517,520	役員会、委員会、(会報及び HP)
アルバイト費	800,000	681,627	
名簿整理費	252,000	252,000	HP 作成費及びデータベース管理
研修費	300,000	279,181	支部の講演会
教育研究助成金	1,000,000	385,760	各学部・学科への助成金 (幼児保育学科・英米語・日本語コミュニケーション学科、国際言語学科)
大学祭への協賛費	100,000	73,260	大学祭協賛金及び交通費
予備費	560,000	268,982	同窓会費返還 (2 名)、同窓会室にパソコン購入 お祝いスタンド花 (英米語ミュージカル・幼児保育学科保育フェスティバル)
基本金積立金	1,000,000	1,000,000	
次年度繰越金	2,251,203	4,899,612	
計	11,863,203	11,863,203	

## 平成 23 年度予算 (案)

収入の部			自 平成 23 年 3 月 1 日 至 平成 24 年 2 月末日 (単位円)
科目	予算	備考	
前年度繰越金	4,899,612		
会費	8,880,000	〈大学〉 23 年度 444 名 × 20,000 = 8,880,000 円 (外国語学部 86 名・人間科学部 358 名)	
雑収入	1,000	普通預金利息	
計	13,780,612		
支出の部			(単位円)
科目	予算	備考	
総会、卒業祝賀会及び入会式	1,000,000	総会会場費、入会式及び卒業祝賀会	
卒業記念品費	1,500,000	平成 22 年度卒業生への記念品 (ネームペン)	
印刷費	1,000,000	会報印刷・封筒、支部会葉書印刷等	
通信費	1,000,000	電話代・切手代・会報送料金	
事務消耗品費	300,000	事務用品、コピー機リース料金他	
会議費	300,000	役員会・委員会 (会報及び HP)・支部長会	
交通費	700,000	役員会・委員会 (会報及び HP)・支部長会	
アルバイト費	800,000		
ホームページ管理費	252,000	年間管理費用 (21,000 円 × 12 カ月)	
研修費	350,000	支部の講演会	
教育研究助成金	1,000,000	学部への助成金	
大学への協賛費	200,000	大学祭協賛金及び交通費	
予備費	500,000	同窓会費返還の為の資金	
基本金積立金	1,000,000	定期預金	
次年度繰越金	3,878,612		
計	13,780,612		

## 卒業祝賀会・同窓会入会式にお越しください

一緒に卒業生をお祝いしませんか？

### 平成 23 年度同窓会総会及び卒業祝賀会・同窓会入会式

場所 札幌パークホテル

札幌市中央区南 10 条西 3 丁目 tel 011-511-3131

日時 2012 年 3 月 17 日 (土)

総会 札幌パークホテル 2 階パールルーム

16:00 ~

入会式及び卒業祝賀会 3 階パークホール

18:00 ~

申込 会報同封のがきまたは電話、

FAX または e-mail でお申し込みください

TEL (0123)34-2515 FAX (0123)25-5350

mail: tsurunokai@chic.ocn.ne.jp

締切 平成 24 年 2 月 25 日 (土) 必着



～アクセス方法～

地下鉄南北線、中島公園駅下車 3 番出口より徒歩すぐ。

## 掲示板

### 北海道文教大学『食育教室 2012』協力スタッフ募集のお知らせ

健康栄養学科では 2004 年から恵庭市の小学生やその保護者様を対象に調理体験型の食育教室を開催しております。学生（主に 3 年生）がボランティアスタッフとして入り、学生の食育体験の場にもなっています。2009 年からは就学前の幼児と保護者を対象に親子わくわくクッキングも加わり、恵庭市教育委員会や生産者団体と連携を取りながら食育の推進に励んできました。現在、3 名の卒業生が講師補助外部管理栄養士としてスタッフに入っています。また、学生ボランティアの確保が日程的に厳しい時は、同窓会の会員でもある卒業生の皆さまにボランティア頂いたことは数知れません。

この度、同窓会を通じて、食育教室を紹介させていただく機会を頂きました。時間がある時に、ボランティアスタッフとしてご参加いただき、学生に刺激も加えていただけると嬉しい限りです。2012 年度は 6 月、7 月、9 月、10 月、11 月又は 12 月の年 5 回を予定しております。日程の詳細が決まりましたら、ホームページなどでお知らせいたします。窓口は次のアドレスになっております。また新たな裾野の広がりを期待しております。

syokuiku@do-bunkyo-dai.ac.jp 食育教室担当 木藤宏子 Tel0123-34-0336

## 編集後記

会報「はまなすの実」をご覧の皆様こんにちは。今回の会報は、文教大学が現在に至るまでの変遷をまとめたものとなっております。この会報を作りながら、自分が学校の歴史を全く分かっていなかったことに気がきました。また、それと同時に自身の置かれている環境が、多くの先輩方の活躍があつて存在していることを痛感いたしました。私は同窓会に関わるまで、先輩・後輩という縦の繋がりの大切さを分かっておりませんでした。しかし、その繋がりが密になればなるほど、自分の成長が加速するということに気がきました。先を進む先輩方に恩返しをすることは難しいですが、今まで先輩方が私たちにしてくださったように、これからは後輩のために力を貸していきたいと思っております。

文教大学は、2 学部 6 学科となり時代のニーズに合わせるよう変化しています。同窓会も常に変化しながら、会員同士のネットワークを円滑にする存在になりたいと考えております。そのためにも「こういう取り組みをしてほしい」「こんなイベントを行っています」など、どんなことでも構いませんので、同窓会員皆様の声や情報を聞かせていただければ幸いです。

健康栄養 1 期 須合 幸司

## 北海道文教大学同窓会 事務局

〒061-1449  
恵庭市黄金中央 5 丁目 196 番地 (大学内)

TEL (0123)34-2515

FAX (0123)25-5350

E-mail: tsurunokai@chic.ocn.ne.jp

www.tsurunokai.net

## 会報及びホームページ委員会

榎本 浩司 (食 26 期) 熊野 彰俊 (中国 3 期)

工藤 鉄也 (食 37 期) 山本 由香子 (食 32 期)

須合 幸司 (健康栄養 1 期) 池内 朋弥 (健康栄養 2 期)